



酒匂の清流

令和4年5月19日(木)発行

校長 津田 将美

日光へ 2年間の想いをのせて

「今年は、修学旅行に行けるんですってねえ！」

朝の通学路で、防犯ボランティアの方が本当にうれしそうに声をかけてくださいました。その笑顔から、このような行事も地域の方々が気にかけてくださっていることが伝わってきました。うれしくなって、私も

「そうなんです！！本当に良かったです！！！」

と、必要以上に大きな声で言葉を返してしまいました。

同じような声かけを、何人かの方からいただきました。きっと6年生も想いがあふれて、いつも見守ってくださっている方に、自然とお話をしているのでしょう。そういう関係ができていくことが、松田町の良さなんだと改めて感じました。

修学旅行が、3年ぶりに実施されました。令和2年度、令和3年度の6年生は、残念ながら日光へは行くことができませんでしたが、それぞれが独自の主体性を発揮し、手づくりの素晴らしい修学旅行を実現してきました。その過程で子どもたちは豊かな経験をしながら、友だちを大切に、時間を大切に、素晴らしい思い出と共に、生きる力を手に入れてきたように思います。そんな先輩たちの想いも地域の方々の願いにつながり、今回の旅行をみなさんが喜んでくださる姿になったのだと思います。

予報が悪かったこの2日間ですが、当日は少し雨に降られたくらいでほとんど傘なしで過ごすことができました。足尾銅山、華厳の滝見学と今までなかなか行くことができなかったこのような活動を子どもたちは満喫しているようでした。

日中はとても元気な6年生でしたが、その分夜はぐっすり眠れた子が多かったようで、2日目も朝から元気に活動することができました。

幸い2日目の東照宮では全く傘の必要がなく、気持ちよく世界遺産とふれ合いながら学習を深めていました。

「校長先生、おばあちゃんへのおみやげ、何がいいかなあ…。」

おみやげを買っているとき、ある子からこんな相談を受けました。

「そうだね、やっぱりお菓子かな。」

「うん、ありがとう。そうするね。」

その子は嬉しそうにおみやげ選びを再開しました。たくさんの子が残金とにらめっこしながら、家族へのおみやげを選んでいる様子が、微笑ましかったです。送り出してくれた家族への感謝の気持ちをいっぱい表現できたことでしょう。

感染症対策に十分配慮して旅行を迎えた先生たちや地域の方々、バスの運転手さん、ガイドさん、旅行会社の方々、そして日光のみなさん…、多くの人の善意と熱意に包まれて、修学旅行が無事終了しました。

2年間の想いがつまった修学旅行は、本当に素敵な旅となりました。

支えてくださった方々への感謝の気持ちをいつまでも、忘れないでほしいと思います



全国学力学習状況調査

4月19日（火）に、全国学力学習状況調査が行われました。この調査は6年生を対象に毎年行われるもの（令和2年度はコロナ禍のため実施なし）で、今年度は「国語」「算数」「理科」の3教科で実施されました。

この日の6年生は、朝から引き締まった表情で調査に臨んでいました。調査中は各教室ともに静寂の中に鉛筆の音がかすかに響き、子どもたちの一生懸命さが伝わってきました。そして終了した際には…、さすがにぐったりしている子が多かったです。

結果は2学期以降に届き、一人ひとりに個人票が渡されます。個々の学習のめあてとするだけでなく、学校全体の教育指導の充実や学習状況の改善等につなげていきたいと思えます。

校内研究のテーマである「分かり合う喜びのある授業の創造」に、これからも全職員で取り組んでいきます。



幼小中合同引き取り訓練

5月2日（月）の幼小中合同引き取り訓練には、多くの保護者の皆様のご協力をいただきまして、ありがとうございました。各園、校をまたいでの訓練ということで、大変な部分もあったかと思いますが、前向きにご協力いただきました。また、実際に起こった場面を想定してのお願いもありましたが、本番を想定して動いていただけたと感謝しています。

昨年度は、旧校舎から河川敷グラウンドへの避難訓練も行いました。新校舎から河川敷へは行程が長くなり、そこへの移動での2次災害も想定されます。新校舎においては耐震もしっかりしているので、グラウンドが完成するまでは避難場所、待機場所は体育館を使用していきたいと思えます。今回の訓練が、子どもたちが自分の命は自分自身で守るという意識につながってくれるといいな、と思えます。



太陽の光を浴びて 伸びる

まるで梅雨入りをしたような日々が続いていましたが、久しぶりのさわやかな天気の下、河川敷で長昼休みを過ごしました。元気な子どもたちの姿をながめっていると、男の子が一人近くに来て言いました。

「校長先生、ころんじゃった。」

膝と肘に、泥がついています。後から来た子がつけたしました。

「ぼくね、わざとじゃないんだけど、足がかかっちゃったんだ。ごめんね。」

すると、もう一人やってきて言いました。

「ぼくが、水道のところまでいっしょに行ってお掃除するから、洗ってこよう。」

「うん、ありがとう。」

たったこれだけの会話ですが、この日の天気にならぬくらいさわやかな気持ちになりました。

太陽の光をいっぱい浴びて、子どもたちは心も体もすくすくと育っています。

